

補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	函館地区保護司会補助金	開始 年 度	昭和30年度
団 体 名	函館地区保護司会		
助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	函館市補助金等交付条例		

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	・全国、全道、渡島管内における各種会議、研修会等の実施および参加 ・サポートセンターの設置運営 ・更生保護事業の啓蒙活動
目 的	(目 的) 保護司の活動支援や資質向上に取り組み、更生保護の推進を図るとともに、犯罪の予防を目的とする。
・ 効 果	(効 果) 新任保護司研修、ブロック別定例研修会、研究大会等を開催したことにより、保護司の資質向上が図られたほか、「社会を明るくする運動」においては、街頭啓発活動や、「市民のつどい」の開催等により、更生保護思想の普及を図り、犯罪予防活動を推進した。

○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	雑収入	計
		市	その他					
収 入	26	853	520	5,357	1,274	32	40	8,076
	27	853	420	5,591	1,235	137	33	8,269
	28	853	409	5,805	920	134	34	8,155
	29	853	511	5,495	1,083	120	53	8,115
	30	853	558	5,244	986	106	0	7,747
支 出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等	雑費	予備費等	計
	26	820	1,090	4,468	1,548	0	150	8,076
	27	900	1,407	4,240	1,438	0	150	8,135
	28	900	1,263	4,362	1,480	0	150	8,155
	29	900	1,442	4,089	1,468	0	150	8,049
	30	1,100	1,099	3,908	1,397	0	150	7,654

補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	函館地区保護司会補助金
----------------	-------------

○基本的視点の再チェック

基 本 的 視 点		適	不適	説 明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	☒ ☒ ☒	☐ ☐ ☐	保護司は、罪を犯した者の更生に努めており、犯罪のない明るい社会の形成に欠かせない事業といえる。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	☒	☐	保護司会組織活動費や寄附金等の収入はあるが、保護司は無報酬であり、自主的活動等に取り組むにあたっては、行政からの補助金は欠かせない状況である。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	☒	☐	更生保護思想の普及に取り組むことで会員数の増員に努め、収入 (会費) の増額を図っている。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	☒	☐	更生保護活動を展開するうえで、きめ細やかな対応が可能であり、最も効果的であるといえる。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

○財政的視点のチェック

財 政 的 視 点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	☐	
2	補助金等の使途は適切である	☐	
3	積算基準は定められている	☒	定額の補助金であることから、積算基準は定められていない。今後、全庁的な整理の中で基準の設定について検討していく。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	☐	
5	前年度繰越金は生じていないか	☐	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	☒	会員の増員に努めてはいるが、担い手が不足している現状においては、収入 (会費) の増収が困難である。このような状況の中、経費を削減し、支出額を抑えるよう努力しており、今後も継続して取り組むよう指導していく。
7	経常経費の節減に努めているか	☐	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	函館地区保護司会補助金
----------------	-------------

○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)

当該団体の目的, 主旨から, 具体的な数値設定は困難と考える。
更生保護思想の普及に力を入れることで会員の増員に努めているほか, 研修会等の実施により保護司の活動支援と資質向上を図っている。

(達成状況)

1 平成30年度研修状況

新任保護司研修2回, 地域別定例研修20回, 保護司特別研修4回, 中学校との連携活動7回, 自主研修会10回, 関係機関団体との研修交流1回。

2 その他の活動状況

「社会を明るくする運動」の推進活動, 「市民のつどい」の開催, 地域青少年育成活動への参加等。

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。

(評 価)	(理 由)
十分効果をあげている ☒	犯罪が後を絶たない今日において, 再犯防止や立ち直りのために日々努力を続けており, 明るい社会の形成に欠かせない事業となっている。
一定の効果をあげている ☐	
効果が疑問である ☐	
その他 ☐	

○今後の方向性

☐	現行のまま補助を継続	(見直しの内容) 当事業の収入は, 国からの実費弁償金以外は, 保護司からの会費や市の補助金等に頼らざるを得ないことから, 現行のまま補助を継続するが, 今後についても, 補助金の減額に向け, 会員増員の取り組みや, 事務経費等の縮減に一層努めるよう指導を行っていく。 (見直しの時期)
☒	見直したうえで補助を継続	
☐	廃止	
☐	その他	

(廃止の理由)	(その他の内容)
(廃止の時期)	

○終期の設定

終期設定	☐	終期到来により廃止	次回チェック年度(予定)
令和 3 年度	☒	終期到来時に再検討	

令和 3 年度
